

令和2年度「夏休み子ども科学研究室」を開催しました

小学生を対象に「夏休み子ども科学研究室～身近な環境を科学しよう！～」を開催したところ、6名の参加があり、①音を形で見よう、②紫外線で色が変わるキーホルダーを作ってみようの2つの実験を通して、身近な環境問題とその対策について学習しました。

- ・ 日 時 令和2年8月11日（火）9:00～12:00
- ・ 場 所 富山県環境科学センター講堂
- ・ 参加者 6名
- ・ 内 容

【音を形で見よう】

音を模様として表す装置を使って、音の高さや大きさを体感し、身近な騒音や、暮らしにおける配慮方法について学びました。



【紫外線で色が変わるキーホルダーを作ってみよう】

紫外線の強さで色が変わるマニキュアを使ってオリジナルキーホルダーを作るとともに、紫外線と関連する大気汚染について学びました。



【児童の感想（一部）】

- ・ 楽しかった。曇っていても紫外線が届くことが分かった。
- ・ 音で砂の模様を作ったり、キーホルダーを作ったりして楽しかったです。音が出たり、紫外線で色が変わる仕組みがよく分かりました。
- ・ 音の振動の事や、紫外線の事が分かったので良かったです。
- ・ また来年も参加し、富山県の環境について知りたいです。